

Q2 武庫川下流の築堤区間の洪水に対する安全性向上をなぜ急ぐのか？

A2 尼崎市、西宮市の境を流れる武庫川の下流部は、川底がまわりの土地より高い天井川の様相を呈しています。

図1は、阪神電鉄橋梁付近において夙川から神崎川までを東西方向に地形を切ったものです。特に注目すべきは、武庫川の洪水時の水位の高さです。高さを比較しますと甲子園球場の上段席の位置になることがわかります。

武庫川の下流域には多くの人口、資産が集積しており、万が一、堤防が決壊した場合、西は夙川付近から東は神崎川に至る広い範囲で浸水被害が発生し、およそ60万人が影響を受ける恐れがあります。そのため流下能力の向上や堤防強化の実施を急ぐ必要があります。



写真1 武庫川阪神電鉄橋梁付近

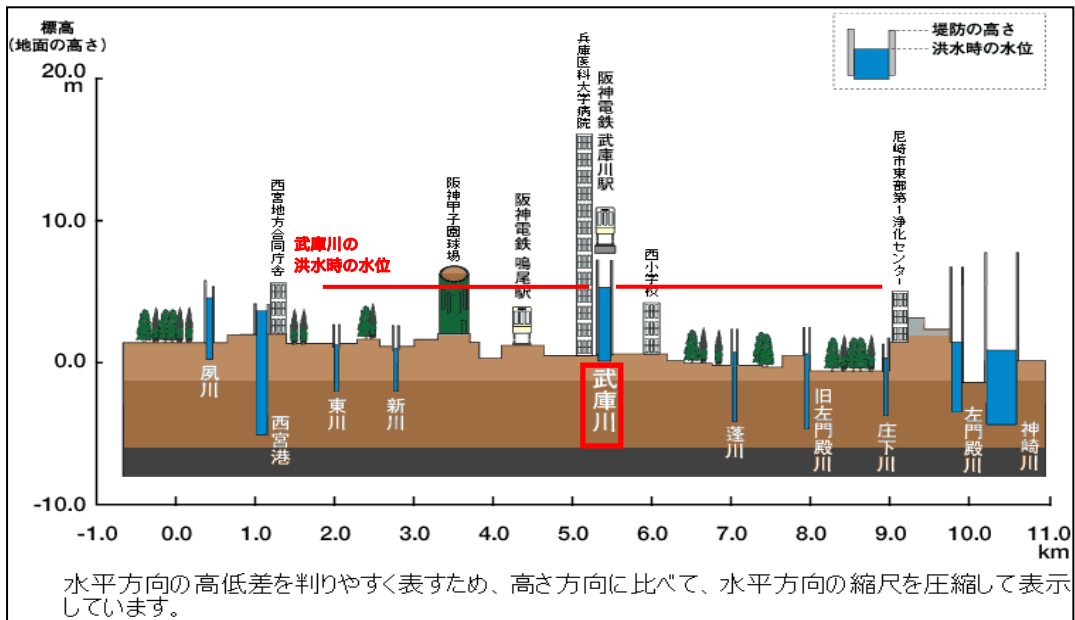


図1 阪神電鉄橋梁付近の横断